



出前授業「戦争と花巻」の紹介

6月に「戦争と花巻」の出前授業が2つの中学校で行われたので紹介します。どちらの学校も、8月10日に行われる「戦没者追悼・平和記念式」に向けた千羽鶴作成の意義理解を目的の一つとして行われました。

1校目は6月18日（水）に行われた湯本中学校です。湯本中学校では、毎年この時期に3年生を対象として実施していて、3年生がこの授業で学んだことをもとにして下級生に意義を伝えながら千羽鶴作成を指導する、という流れにして、毎年実施する連続性を確保しているそうです。

授業は、前半のスライド解説～後半の実物資料観察という進め方で実施しました。観察の際には、写真でしか見たことがなかった実物資料を、興味深い様子で見たりさわったりしていました。学芸員の解説も真剣に聞いていました。



**3年生34人が4
グループに分かれ
て実物資料を観察
（湯本中）**

2校目は6月24日（火）に行われた湯口中学校です。全校を対象に行われました。スライド解説の後は、3つの学年を4つに分けて実物資料を観察しました。

一つのテーブルで25人程度が観察したので、全員が十分に資料にふれることはできなかったかもしれませんが、どの生徒も学芸員の説明を集中して聞き、さわれる資料にふれて重さや質感などを確認し、爆弾との背比べも積極的に行っていました。



**全校生徒99人がスライ
ドを見て花巻空襲を学習
（湯口中）**

また、2年生は小学生のときに一度この授業を受けていましたが、それでも今回、中学生の目で見ることによって新たな気づきもあったようです。

湯本中・湯口中の代表生徒の感想

- ・今日は、実際の空襲の解説を聞いたり、実際の資料を見たりふれたりして学ぶことができた。大人に限らず子どもも亡くなってしまったことを知り、戦争は残酷でだめなものだと改めて実感した。
- ・私たちの住んでいる花巻にも、およそ24発というたくさんの爆弾が落とされたと聞いて、とても驚いたし、怖い気持ちになった。今日、改めて、空襲の恐ろしさを知ることができて良かった。この学びを忘れず、これからの生活に活かしていきたい。

裏面へ続く

今年度のテーマ展第2弾

「戦後80年 戦争と花巻」開幕!

「酒造りのわざ」に続くテーマ展第2弾が7月5日（土）からスタートします。

- | | |
|-----|------------|
| 序章 | 戦争の足音が忍び寄る |
| 第1章 | 日中戦争のはじまり |
| 第2章 | 太平洋戦争勃発 |
| 第3章 | 戦後の暮らし |
| 第4章 | 大日本帝国の終焉 |
| 第5章 | 戦後の日本 |
| 第6章 | 継承される戦争の記憶 |

本展では、満州事変などから日中戦争、太平洋戦争へつながる歴史の流れと、戦局の転換から本土空襲、終戦までの状況、さらに戦後の復興、現代に残る「戦争の記憶」などについて解説して展示しています。また、戦時中の国民生活や花巻および周辺地域における戦争の経過を、当時の貴重な資料を通して紹介しています。

戦後80年の節目となる年の本展が、かつての戦争について、改めて振り返る機会となれば幸いです。

若葉小学校から借用した「青い目の人形」は、第3章に展示しています。

青い目の人形

name 「ジェニー・エロイズ・ギルバート」
(昭和時代)

size : 41.0×34.0×13.0 (cm)
(花巻市立若葉小学校蔵)



戦時中の花巻の絵葉書

花巻の名所や名物と絡めて、戦時色の強い会話（方言）が記載されています。※詳細は展示でご確認ください。



関連イベント

◇特別講演会 「花巻と戦争」

講師：加藤昭雄氏（岩手・戦争を記録する会事務局長、『花巻が燃えた日』著者）

日時：令和7年7月20日（日）13:30～15:00

場所：花巻市博物館 講座体験学習室

定員：30名（要申込、入館料不要）

◇特別上映会 「戦争の足跡を追って

北上・和賀の十五年戦争」

監督：都鳥 伸也氏（登壇）

日時：令和7年8月11日（月祝）13:30～15:30

場所：花巻市博物館 講座体験学習室

定員：40名（要申込、入館料不要）

講演会・上映会の申込方法

博物館ホームページの専用申込フォームまたは電話でお申し込みください（1か月前から受付）。

◇ギャラリートーク

日時：①令和7年7月21日（月祝）13:30～14:30

②令和7年8月9日（土）13:30～14:30

場所：花巻市博物館 企画展示室

定員：なし（予約不要、入館料は必要）